



消費者志向経営自主宣言

2024年度活動報告

2025年3月

株式会社ニチレイフーズ

企業コンセプト・ミッション・ビジョン

企業コンセプト

くらしに笑顔を

ミッション（存在意義）

ニチレイフーズは人々のくらしを見つめ、食を通じて、健康で豊かな社会の実現に貢献します。

ビジョン（目指す姿）

私たちは常に独自能力を磨き、卓越した価値を創造することで、世界で最も信頼される食品企業を目指します。

お客様・取引先に

誠実に向きあい、独自の価値ある商品・サービスを提供し続けます。

従業員に

風通しが良い活性化された職場を提供します。

社会・投資家に

広く好感と信頼を寄せられる、グローバルに展開する企業として成長します。

従業員のモットー及び行動指針

『ハミダス』（とらわれず、明るく）

モットー



行動指針

1. 法と社会の秩序を守り、高い倫理観をもって行動します。
2. お役に立つ価値提案のために食と生活を見つめます。
3. 互いに多様性を認め合い、対話を通じて連携します。
4. 誠実な気質を継承し、ていねいなものづくりを心がけます。
5. 謙虚に自己を見つめ、挑戦することで成長し続けます。

消費者志向自主宣言（2022年6月1日改訂）

取組方針

◆目標：ニチレイグループ「サステナビリティ基本方針」に基づき、持続可能な社会の実現に貢献する。

◆定義：「消費者」と「共創・協働」して「社会価値」を向上させる経営

◆活動：

①みんなの声を聴き、かつ活かすこと

サプライチェーン上のあらゆる方の声に耳を傾け、消費者から共感を得られる「双方向コミュニケーション」を実現してまいります。

・WEB上でのコミュニケーションやCS調査アンケート等を通じ、消費者の率直な意見をお伺いし、商品開発、表示などの改善に活かしてまいります。

・お客様相談センターで受け付けた消費者のご相談、ご指摘等の貴重な声を一元管理し、全従業員で情報共有するとともに、商品開発、表示等の改善に活かしてまいります。

・ミッション・ビジョンの実現に向けて、経営者の想いを従業員に伝えるとともに、従業員の声に耳を傾け、明るく元気で風通しの良い会社づくりを進めてまいります。

②未来・次世代のために取り組むこと

持続可能な社会の実現のために、「新たな価値の提供」、「フードロス削減」、「環境負荷低減」、「教育の機会提供」を推進します。

・サプライチェーン各段階におけるフードロス削減のため、AI等の技術開発、原材料および商品の有効活用等に努めてまいります。

・環境負荷低減のため、再生可能エネルギーの利用推進、動植物性残渣やプラスチック使用量の削減等に努めてまいります。

・こどもから高齢者まで幅広い年齢層の消費者に対し、「冷凍」の特性を活かした食育を提供してまいります。

・従業員も消費者であるという観点から、SDGsを正しく理解し、自分ごととして取り組み、未来に向けた新たなチャレンジが出来るよう教育機会を提供してまいります。

③法令の遵守/コーポレートガバナンスの強化をすること

適切な資源配分や意思決定の迅速化に努め、株主・投資家等のすべてのステークホルダーとの建設的な対話と、誠実かつ平等な情報開示を通じて、公正で透明性の高い経営を推進します。

ニチレイグループ「サステナビリティ基本指針 ニチレイの約束」 (2022年3月15日改訂)



ニチレイグループは、地球環境・地域社会に及ぼす影響に配慮し、人権を尊重しながら、食の「調達」「生産」「物流」「販売」などの事業活動を通じて新たな価値を創造し、社会課題の解決に取り組みます。そして、これらの活動をステークホルダーの皆様にも広く公表し、対話を深めながら、持続可能な社会の実現に向けて、豊かな食生活と健康を支える企業としての責任を果たしていきます。

コーポレート ガバナンスの充実



適切な資源配分や意思決定の迅速化に努め、対話と情報開示を通じて、公正で透明性の高い経営を推進します

社会との共生



社会の一員として、ステークホルダーと広く対話し、共に考え、行動することで、地域の発展や社会課題の解決に貢献します

持続可能なサプライチェーンと 循環型社会の実現



継続的で良好なパートナーシップの構築を通じて、環境や人権・労働環境に配慮した、倫理的で持続可能なサプライチェーンと循環型社会の実現を目指します

新たな価値の創造



新たな商品やサービスを創り出し、事業を通じてお客様および社会の課題を解決します

～持続可能な社会の実現に向けて～

ニチレイの 約束

ニチレイグループは、地球環境・地域社会に及ぼす影響に配慮し、人権を尊重しながら、食の「調達」「生産」「物流」「販売」などの事業活動を通じて新たな価値を創造し、社会課題の解決に取り組みます。そして、これらの活動をステークホルダーの皆様にも広く公表し、対話を深めながら、持続可能な社会の実現に向けて、豊かな食生活と健康を支える企業としての責任を果たしていきます。

多様なニーズにこたえ、高い品質と安全性、安定した供給を実現し、お客様と社会からの信頼を獲得します

安全で高品質な商品と サービスの提供



温室効果ガス排出削減、食資源や水資源の適切な管理などを通じ、地球環境と生物多様性の保全に努めます

気候変動への取り組みと 生物多様性の保全



事業を展開する各国の法令の遵守、国際的な規範の尊重および企業倫理の徹底により、誠実な企業活動を実践します

コンプライアンスの 徹底



働く人の多様性を尊重するとともに、労働安全衛生の確保、公正な処遇、能力開発機会の提供に努め、個々の能力を最大限に発揮できる環境を実現します

人財の多様性の尊重と 働きがいの向上



<https://www.nichireifoods.co.jp/corporate/sustainability/procurement.html>

サステナビリティ経営推進について トップメッセージ

事業を通じた社会課題の解決で サステナビリティを追求します

代表取締役社長 や 永 雅 彦



ニチレイグループは、2022年4月にサステナビリティ基本方針「ニチレイの約束」を制定し、サステナビリティ経営を推進しています。また、2023年には2050年までのカーボンニュートラル達成を宣言しました。

事業会社であるニチレイフーズは、ミッション（存在意義）を「ニチレイフーズは人々のくらしを見つめ、食を通じて、健康で豊かな社会の実現に貢献します。」と定めています。また、「私たちは常に独自能力を磨き、卓越した価値を創造することで、世界で最も信頼される食品企業を目指します。」というビジョンを掲げています。

冷凍食品のパイオニア企業として、それぞれの時代の社会課題を、私たちの強みである「冷凍」「簡単・便利」「美味しさ再現」技術を駆使し、時代に先駆けた新たな価値を提供し続けることで解決してまいりました。

しかし現在では、世界的な環境汚染や地球温暖化による気候変動、拡大する経済格差、人権に関する関心の高まり、そして各地での戦争・紛争に伴う地政学リスクの増加など、世界全体が新たな課題に直面しています。

そうした中で生活者の意識も変化し、商品やサービスの購買動機はサステナブル基準が重視され、企業もESG視点で評価される時代に入りました。脱炭素に環境対応、人権保護も加味した責任ある原材料の調達など、社会からの要請も、より複雑・高度化しています。地政学リスクも加わり、これら社会課題への対応は待ったなしの状態です。

新たな動きも始まっています。環境保全や脱炭素に関する新しい技術が次々と生まれ、企業同士がパートナーシップを組み、ともにSDGsのゴールを目指すなど、社会全体で地球を元の健全な状態に戻そうと前進を始めていることも事実です。

私たちは冷凍食品の製造・販売事業を通して、計画的な食糧の需給や食品廃棄ロスの削減に取組み、健康に資する新たな付加価値を提供すること、および原材料調達から商品の配送まで責任あるSCM網を構築することで「健康で豊かな社会」の実現に貢献できると確信しております。

生活スタイルが多様化し、様々な価値観が存在する時代ですが、私たちはこのような生活環境の変化に対応した新たな価値を創造し、その価値を提供し続けることで、これからも様々な社会課題の解決に貢献し、持続可能で豊かな社会の実現に向けて努力してまいります。

今後とも変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

①みんなの声を聴き、かつ活かすこと

★事例1

<そのまま使える九州産のほうれん草/可食部を分かりやすくしました>

【お客様からいただいたご意見】

『ピンク色のベーコンみたいなものが入っていた。これは何？』
ほうれん草の根元部分はピンク色をしており可食部なのですが、この部分だけカットされているものを見ると異物に思われたのかもしれない。ピンク色の部分だけを見るとベーコンだと勘違いするのでも理解できました。

【イラストを工夫しました】

ピンク色の部分は「ほうれん草の根元」部分で可食部であることが分かるようにイラストを工夫しました。



【旧表示】



【新表示】

①みんなの声を聴き、かつ活かすこと

★事例2

<冷やし中華/調理方法をわかりやすくしました>



旧表示

【お客様からいただいたご意見】

『調理後、どうなれば良いかがわからないので、追加熱すべきかどうかで迷う』

レンジ調理しても「冷たい」商品とはどのようなものであるかがわかりにくい表現になっていたのかもしれない。

【わかりやすい表現にしました】

調理後、どのような状態が正常で、追加熱が必要な場合はどのようにすれば良いかをわかりやすく記載しました。生活者のみなさまにご理解いただけるような表現ができるように、今後も工夫してまいります。

旧表示の調理方法説明書（一部抜粋）

保存上の注意
冷凍庫（-18℃以下）で保存
いったん解けたものを再び凍らせると品質が変わることがあります。 -18℃

栄養成分表示 1人前あたり(360g)

エネルギー	たん白質	脂質	炭水化物	食塩相当量
417kcal	16.2g	2.9g	81.4g	4.7g

電子レンジ専用

① 外袋から商品を取り出し、トレイからタレ袋を取り出します。
(タレは3分程度で自然に解けます)

② ラップをかけず温めてください。

③ 具材トレイを外し、タレを入れて麺をよくほぐします。(約30秒)

④ 具材を盛り付けて出来あがりです。

調理後

※レンジ調理後も水は残ります。

※具材が凍結されていない場合は10秒間ずつ追加加熱してください。

新表示の調理方法説明書（一部抜粋）

保存上の注意
冷凍庫（-18℃以下）で保存
いったん解けたものを再び凍らせると品質が変わることがあります。 -18℃

栄養成分表示 1人前あたり(340g)

エネルギー	たん白質	脂質	炭水化物	食塩相当量
393kcal	16.0g	2.7g	76.2g	4.9g

電子レンジ専用

① 外袋から商品を取り出し、トレイからタレ袋を取り出します。
(タレは3分程度で自然に解けます)

② ラップをかけず温めてください。

③ 具材トレイを外し、タレを入れて麺をよくほぐします。(約30秒)

④ 具材を盛り付けて出来あがりです。

調理後

※レンジ調理後も水と麺の中央部分は残ります。

※具材が凍結されていない場合は10秒間ずつ追加加熱してください。

【新表示】

②未来・次世代のために取り組むこと

冷凍食品の賞味期限延長についてのお知らせ

2025年01月10日

報道関係者 各位

株式会社ニチレイフーズ（代表取締役社長：竹永雅彦）は、当社の冷凍食品において、賞味期限を12カ月に設定しておりました商品の一部を18カ月に延長することをお知らせします。農林水産省が掲げる食品ロス削減推進概要の取り組みの1つとして「賞味期限の延長」が推奨されています。当社では、本概要に則り主力カテゴリー商品を中心に品質の再検証をおこなってまいりました。その結果、一部商品でこれまでよりも長い賞味期限を保証できることが確認できたため、賞味期限の延長を実施いたします。

今後も他カテゴリー商品の品質を検証し、対応可能な商品については賞味期限の延長を進めてまいります。

記

【今回の対象商品】

家庭用	今川焼・たいやき類、グラタン・ドリア類	全8品
業務用	今川焼・たいやき類、パンケーキ類	全7品

②未来・次世代のために取り組むこと

店頭回収した冷凍食品包装(フィルム)をリサイクルする実証実験を開始 冷凍食品包装回収プロジェクト「ごちそうさまの、その先に。」

2024年10月22日

報道関係者 各位

アマタ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡田 健一、以下 アマタ)と、株式会社イトーヨーカ堂(本社:東京都品川区、代表取締役社長:山本 哲也、以下イトーヨーカ堂)、TOPPANホールディングスのグループ会社であるTOPPAN株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:齊藤 昌典、以下TOPPAN)、株式会社ニチレイフーズ(本社:東京都中央区、代表取締役社長:竹永 雅彦、以下 ニチレイフーズ))(※以上五十音順)の4社は、冷凍食品包装(フィルム)の店頭回収を行い、回収したプラスチックをクリップなどの樹脂加工品にリサイクルするための実証実験を10月29日よりイトーヨーカドー大森店(東京都大田区)にて開始します。

本実証実験では、消費者が家庭内で事前に洗浄・乾燥を行った冷凍食品包装(フィルム)をイトーヨーカ堂の店舗にて回収し、使用済みの冷凍食品包装(フィルム)のリサイクルに向けた技術検証を行うと同時に、消費者との最適なコミュニケーション手法や効率的な回収スキームを検証します。

詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

特設サイトは[こちら](#)

②未来・次世代のために取り組むこと

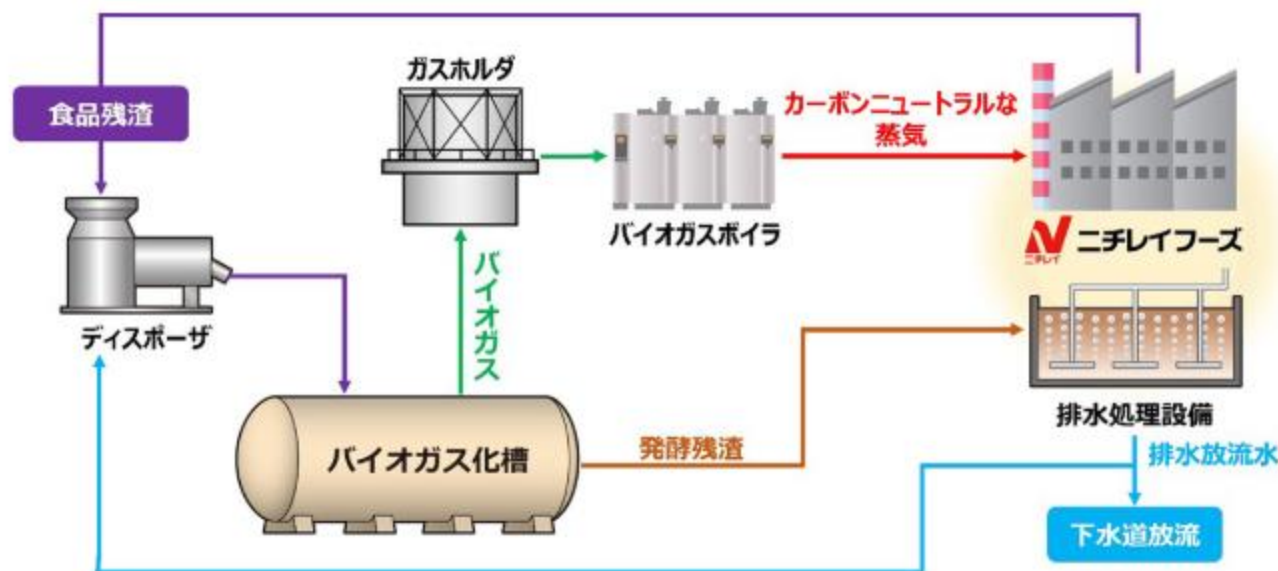
食品残渣をオンサイトでエネルギー化するDaigasエネルギー「D-Bioメタン」を関西工場に新規導入 動植物性残渣の約20%減容・CO₂排出量の年間約40t削減を目指します

2024年05月15日

詳細はこちらをご覧ください

https://www.nichireifoods.co.jp/news/2024/info_id40816/

【関西工場に導入するオンサイト型バイオガス化システム概要】



③法令の遵守/コーポレートガバナンスの強化をすること

適切な資源配分や意思決定の迅速化に努め、株主・投資家等のすべてのステークホルダーとの建設的な対話と、誠実かつ平等な情報開示を通じて、公正で透明性の高い経営を推進します。

ニチレイグループのコーポレートガバナンスに関する基本的な考え方

当社グループは、持株会社体制のもと、事業会社が加工食品、水産・畜産、低温物流およびバイオサイエンス等の多岐にわたる事業を展開しております。当社の取締役会が当社グループの戦略を立案し、事業会社の業務執行を監督するという構造を採り、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指しております。

当社は、公正かつ透明性の高い経営の実現を重要な経営課題と認識し、取締役会の監督のもと、適切な資源配分、意思決定の迅速化、コンプライアンスを徹底するなど、コーポレートガバナンスの充実に努めてまいります。

当社は、会社法上の機関設計として監査役会設置会社を採用しております。

➤ コーポレートガバナンス基本方針

https://www.nichirei.co.jp/corpo/governance/governance_policy.html

➤ コーポレートガバナンス体制

<https://www.nichirei.co.jp/corpo/governance/system>

➤ 内部統制システム

https://www.nichirei.co.jp/corpo/governance/internal_control.html

➤ ステークホルダーエンゲージメント

<https://www.nichirei.co.jp/corpo/governance/communication.html>